

LED高天井器具

リアルパワー

# REALPOWER スクエア

使用環境60℃まで設置可能

180lm/Wの高効率で高演色Ra82を実現

軽量2.1kg片手でラクラク持ち上げ



水銀ランプ250W相当のOPH-AS14・Nと  
400W相当のOPH-AS22・Nの2品種をラインアップ

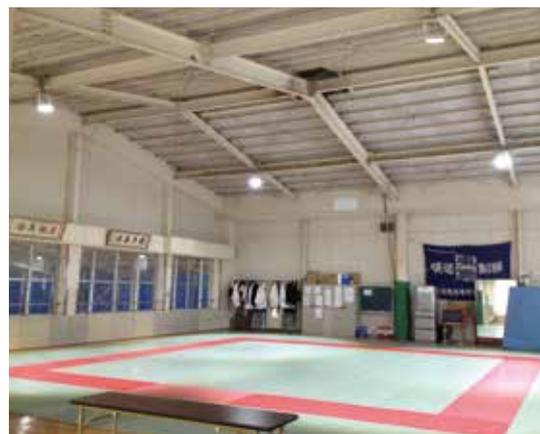
こんなお客様にオススメ

◆工場・体育館・倉庫などの屋内高天井照明の  
LED化を検討されているお客様

新発売

## 特長

- 動作保証温度が-20～60℃とより高温の環境下でもご使用できます。
- 電源内蔵で工事がラク。
- 軽量2.1kg片手でも軽々持ち上げることができます。
- 約180lm/Wの高効率でRa82を実現。
- Ra82の高演色だから、ものの見え方がよく体育館、工場等の屋内照明に最適。
- 光源寿命60,000時間。



イメージ写真

# LED 高天井器具 REALPOWER スクエアー

## 特性表 屋内専用

	定格電圧 (V)	動作保証温度 (°C)	質量 (g)	入力電圧 (V)	器具光束 (lm)	ビーム角 (度)※	色温度 (K)	平均演色評価数	消費電力 (W)	入力電流 (A)	固有エネルギー消費効率 (lm/W)	設計寿命 (時間)
OPH-AS14・N	100~242	-20~60	2.1	100	14,000	116	5,000	82	80.3	0.807	174.3	60,000
				200					79.0	0.408	177.2	
				242					79.2	0.347	176.6	
OPH-AS22・N				100	22,300				129.1	1.293	172.7	
				200					125.0	0.639	178.4	
				242					125.1	0.541	178.2	

※光度が最大光度の1/2の値になる左右2方向の広がり角度

## HID代替の目安

	器具光束 (lm)	メタルハライドランプ	セラミックメタルハライドランプ	高圧ナトリウムランプ	水銀ランプ	バラストレス水銀ランプ
OPH-AS14・N	14,000	250/300	250	270/300	400	750
OPH-AS22・N	22,300	400	400	270/360	700	-

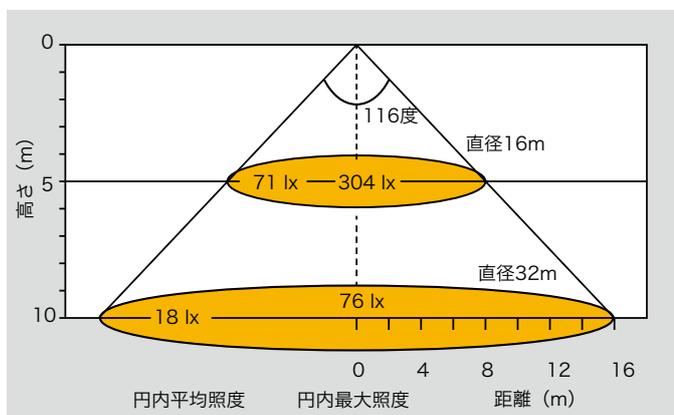
## 屋内天井高別 代替の目安

天井高 (m)		
15		
14		
13		
12		
11		
10		
9		
8		
7		
6		
5		
4		

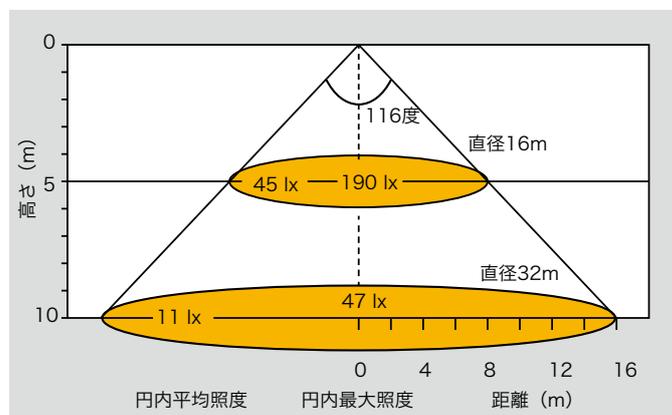
OPH-AS22・N (天井高 10m ~ 14m)

OPH-AS14・N (天井高 6m ~ 8m)

### OPH-AS22・N



### OPH-AS14・N



LED 素子には、光色・明るさにバラツキがあり、同一の製品においても光色・明るさが異なる場合があります。ご了承ください。

リアルチューブ

リアルフレート

リアルコンパクト

リアルパワースクエアー

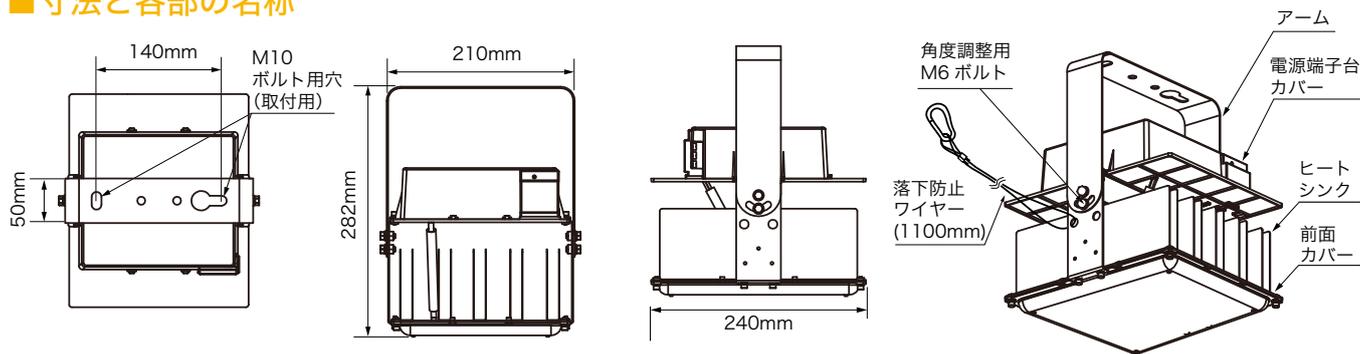
リアルパワーソレイユ

デジタルサイネージ

リアルクリーン

## LED 高天井器具 REALPOWER スクエア

## ■寸法と各部の名称



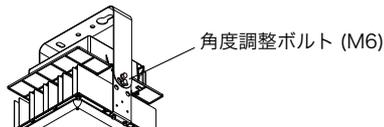
## ■施工方法

## ■器具の施工方法

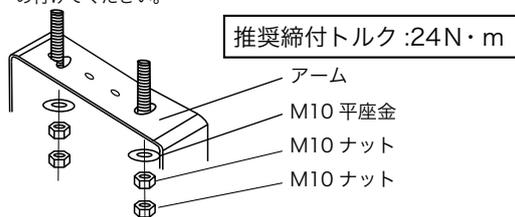
- 1 天井取り付け面に、M10 ボルト 2 本 (別途) が下記寸法、取付ピッチで施工されていることを確認する  
取り付け面は、器具質量の約 10 倍の質量に十分耐えるように強度を確保してください。



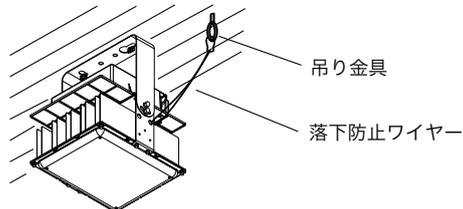
- 2 角度調整ボルトをゆるめ、アームが可動できる状態にする



- 3 アームを平座金 2 個 (別途)、M10 ナット 4 個 (別途) を用いて各ナットを締め付け確実に固定する  
アームは M10 ナットを 2 個使用し、ダブルナットで確実に締め付けてください。

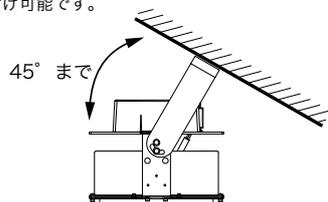


- 4 落下防止ワイヤー (同梱) を吊り金具 (別途) に取り付ける  
付属の落下防止ワイヤーを使用し、必ず重さに耐えられる構造体や吊り金具などに固定してください。



## 角度調整用ボルトを締めて固定する

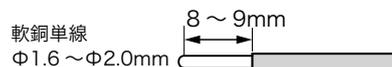
必ず、本体が水平になるように調整し、角度調整ボルトを確実に固定してください。  
傾斜天井に取り付ける場合は、傾斜角度 0 ~ 45° までの天井に取り付け可能です。



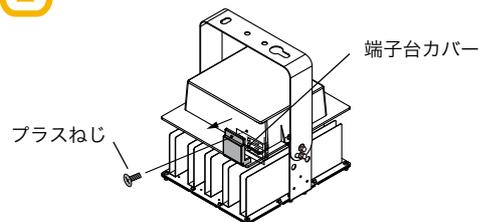
## ■電源線・アース線の施工方法

端子台に電源線・アース線を接続する

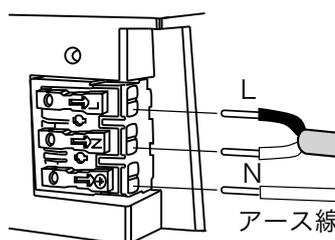
- 1 端子台のストリップゲージに合わせて電源線・アース線の被覆をむく  
適合配線は軟銅単線の  $\Phi 1.6 \sim \Phi 2.0\text{mm}$  になります。適合以外の配線は使用しないでください。  
被覆は 8 ~ 9mm むいてください。



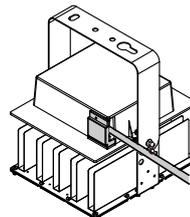
- 2 プラスねじを回して端子台カバーを取り外す



- 3 端子台に電源線・アース線を奥まで確実に差し込む  
芯線部が傷付いている場合、そのまま差し込まないでください。接続が不完全になり、火災・感電の原因になります。  
送り容量は 15A 以下になります。容量を超えないように注意してください。



- 4 接続後、端子台カバーを必ず取り付けてください。



注意：電源線・アース線を引き抜く際は、必ず電源を切り、解除ボタンを強く押しながらかき抜いてください。

注意：別途記載の部材は施工担当者様にてご準備をお願いいたします。